



こんにちは

村田けい子です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2018.3.2
No 142

3月議会が始まります。

来年度の予算委員会もあります。ご意見・ご要望をお聞かせください。

【議会日程(予定)】

3月2日	金	本会議	議会招集のあいさつ
3月5日	月	10:00~本会議	議案上程
3月6日	火	10:00~本会議	議案質疑
3月7日	水	10:00~本会議	一般質問1~5
3月8日	木	10:00~本会議	一般質問6, 7
3月9日	金	9:00~	社会文教建設常任委員会
3月12日	月	9:00~	総務経済常任委員会
3月13日	火	9:00~	予算特別委員会
3月14日	水	9:00~	予算特別委員会
3月19日	月	午後1:30~	本会議・討論採決

村田は5番目。
権現の湯の大規模改修について質問します。

高校生への就学支援金の
条例制定についてなど議
論されます。

小学校保健室に冷房設
備・中学校開校60周年記
念事業費など、新たに盛り
込まれています。

【一般質問】 3月7日

- 1、今井清議員 道の駅の活性化について
索道事業の方向性について
- 2、森澤文王議員 地域おこし協力隊について
- 3、両角正芳議員 町長の重点指針の成果
と課題。30年度の主要 施策は/行政運営の効率化・
適正化の上から組織体制の見直しを

- 4、今井英昭議員 農政の現状から見える
展望と課題/蓼科教育の現状について
- 5、村田桂子/権現の湯の大規模改修
- 6、榎本真弓議員/長期的財政見通しと財政
運営について
- 7、土屋春江議員 立科町民俗資料館設置の
考えは/町職員の人材育成は

【町の話】 五無齋さんにちなんだス イーツの試作品がお目見え！



五無齋さんが発見した
玄能石(左)と焼き餅石
にちなんだスイーツ2点。

信毎の記事にもなりました。
五無齋生誕150周年記念事
業として新たな名物を作り出
そうという実行委員会のみな
さんの熱意の下、町内のお菓
子屋さんに依頼をした試作品
の試食会が行われました。



焼き餅石(学名:緑簾石)は、結晶の
中身が2層構造。薄緑色のあんこの
中に、濃い緑の結晶が含まれていま
す。その石そっくり！割ってみると感
動が、二つの味が楽しめます。



黄金の杯
陽だまり

車で走っていたら何やら黄色いものが。
なんだろうと車を止めてみると福寿草！
太陽の光を一身に受けて輝いていま
した。ここだけすっかり春。

これから春の便りがあちこちから聞かれ
ることでしょう。そういえば昨日の大風は
春一番でしょうか。雷も轟きました。



今週のパチリ



年間 150万人が訪れる

「道の駅 田園プラザ川場」の視察研修

商工会の企画で、群馬県川場村の道の駅を訪ねました。年間150万人が訪れ、売上高13億円（H25）の人気の道の駅です。中央の広場をぐるっと囲んで、農産物直売所のファーマーズマーケット、ビジターセンター、そば処、ミート工房、ピザハウス、地ビールを売りとするレストラン・陶芸体験など、15の直営、テナントがあり、隣には大滑り台や摘み取り体験ができるブルーベリー公園が配置され、一日ゆっくりと滞在できる装置がすべてそろっている道の駅でした。何度も訪れるリピーターの7割が首都圏からのお客さんとのこと。顧客満足度

和風でおしゃれなレストラン、地ビールが楽しめる。

を上げることを商売の基本にしているとのこと、武尊山（ほたかやま）の山頂からの眺望を楽しみたいとお客のリクエストに応じて、自動車を無料で運行。ブルーベリーの畑も無料で摘み取り体験ができます。

昭和40年ころにコメ作りと養蚕の盛んな豊かな暮らしだったそうです。高齢化が進む中で危機感を抱き、村づくりをスタート。昭和50年に「農業と観光」を村づくりの基本と定め、昭和56年には人口90万人の世田谷区と縁組し、5年生は5泊6日の校外授業として、川場村に、400人泊まれる宿舎を2棟建設、山村留学として、農村体験も行われ、第2の故郷として、川場村が親しまれているとのこと。村内の道路工事にも世田谷区もお金を出して整備するというお話にはびっくり！まさに第2の故郷として位置付けていることがよくわかるお話でした。やがては移住先として考える子供も生まれてくるのではないかと思います。

驚いたのは世田谷区がピザ屋とレストランを直営していること。経済的にも雇用面でも文字通りのwinwinの関係となっていることです。子どもたちの山村留学といい、直営レストランの進出と言い、世田谷区のかかわりは深く、そしてお互いにないものを補い合う補完する形となっています。

田園プラザの成功の秘訣は？ 私の感じたこと。

1、町が積極的に下支えをしていること このプラザの土地は村有地であり、施設内の様々な建物は、7割が町、2割が県の割合で、資金を調達して作る。その後、運営する人を募集することとして、ここを「地域の活性化や産業興しを担うタウンセンター」（紹介のリーフレットより）として整備されたもの。町民の要求や願いを束ねた町のリーダーシップは成功のいしずえだろうと思います。

2、「山間の行き止まりの村」というハンディを逆手にとって、「滞留型の目的地」とするにはどうするか。の視点から、徹底した議論と来客者のアンケートによる顧客満足度を上げることを至上命題とする経営方針を打ち立てたこと。

3、村民にとっても、パン工房、ビール工房などここがお楽しみのもので在り、農産物の加工や販売の拠点となつて集まれる場所となっていること。などが挙げられます。

立科町にも「道の駅 たてしな女神の里」ができました。ここから見る浅間連山は最高の眺めです。

ソバ打ち体験のできる耕福館もブルーベリー農園、ジャガイモ畑もあります。これに加えて、家族連れで楽しめる体験型の施設や眺望を活かした事業などを手掛ければ、町民の憩いやお楽しみとともに、外からの誘客も見込め活性化の拠点となることは可能であると思います。みんなで知恵を出し合って、いっそうにぎやかな誇れる拠点にしてゆきましょう。

月夜野びーどろパーク（群馬県水上町）も見学。

サンドブラスト体験に感激！やはり体験型は思い出に残ります。

途中で立ち寄ったガラス工房では、コップに模様を張り付け、砂の粒子を高速で吹き付けて摺りガラス状にし、張り付けた模様が透明になって残るというサンドブラスト体験をしました。すでに用意されている星・ハートなどのシールを選びコップに張り付けて準備。係の人に砂を吹き付けてもらいます。私は自分でやってみました。パチパチと細かい砂が腕に当たりました。恐竜のこどもとカブトムシ、音符を吹き付けてマイグラスをつくりましたよ。



砂を吹き付ける装置になか作業の様子

